

事業の背景・目的

コウノトリの野生復帰に取り組む豊岡市では、市・地域が協働してボランティア等も活用して湿地や里山の管理・整備などの保全を行っている。コウノトリの生息数が増えている中で、地域の担い手の減少や、保全に対する意識の醸成が十分ではなく、今後も持続的に活動していくことが難しくなりつつある。本事業により、ラムサール条約湿地「円山川下流域・周辺水田」の湿地環境や周辺の里地里山の保全や、生物多様性保全に寄与する活動を拡大させるとともに、経済・環境の両面で持続可能な事業（ワイズユース）の実施体制および事業内容の充実を図り、市・地域・地域事業者が協働した持続的な保全と自然資源の利活用を両立させる基盤を形成する。

主な活動地域となる出石川、加陽湿地と隣接する里地里山



提供：豊岡河川国道事務所

事業の内容

里地里山の保全及び自然環境への意識醸成を行うため、アドバイザーの助言を受けながら、森のようちえん（自然保育）や野外プログラム等の試行を行った。

【事業1 自然保育事業】

- (1) 親子参加型体験クラスの開催
(計15回、参加者のべ198人)
- (2) 自然保育に係る人材育成
 - ・ 全国の森のようちえんへの視察等
 - ・ 各種研修の参加、受講
(リスクマネジメント研修、
危険生物対策講座 等)



親子参加型体験クラスの様子

【事業2 野外プログラム化事業】

- (1) 竹伐採体験会の開催
(計1回、参加者5人)
- (2) 伐採竹を活用した
クラフト体験会の開催
(計2回、参加者計18人)



竹伐採体験会の様子

【事業3 協議会事業】

- (1) 協議会の運営
- (2) アドバイザーとの
調整 等

得られた成果

【事業の成果】

- ・ 里山や自然に親しむ機会を創出し、里山の保全と自然環境への意識醸成に繋げることができた。
- ・ 各体験会等の参加者から聴取した意見やアイデアを参考に、今後の事業の内容を企画、検討し、内容の充実化や参加者の満足度向上に繋げる。
- ・ 地元地区は、本事業の取組みによって交流人口が増加することによって地域がにぎわうことを望んでおり、良好な関係を築くことができている。

【補助事業終了後の展開】

- ・ 自然保育の実施
(平日保育、体験を主とした「親子体験クラス」等)
- ・ 野外プログラム化事業の実施
(竹林の整備体験、企業向け研修プログラム等)
- ・ 環境教育、自然体験イベントの実施
(湿地や里山の恵みを活用したクラフト体験等)